

あゝ！ お前はその口に口づけさせてくれなかつたね、ヨカナーン

オスカー・ワイルド作、福田恆存訳『サロメ』岩波書店、二〇〇〇年より



森コレクション展Ⅱ

華麗なる版画の世界

ものがたりと共に在る美

2018.10.6(土)–12.2(日) 入館無料

9:00–17:00 (入館は16:30まで) 月曜休館 ただし、10月8日(月・祝)は開館

総社吉備路文化館 〒719-1123 総社市上林1252 TEL・FAX 0866-93-2219

備中国分寺北側県営駐車場より徒歩約10分

学芸員によるギャラリートーク：10月6日(土)、11月3日(土)、12月2日(日) 各11:00～

主催：総社市 総社市教育委員会 公益財団法人総社市文化振興財団 挿図 オーブリー・ピアスリー〈舞姫の褒美〉《サロメ》1893年。(部分)

総社吉備路文化館



総社吉備路文化館

検索

様々な“ものがたり”を伝える、版画の美



モーリス・ドニ《母と子》制作年不詳

版画は、その様々な技法が持つあじわいの美を楽しむ芸術であると同時に、たいへん重要な情報伝達的手段でもありました。現代のように写真や映像の技術もなく、交通手段にも乏しかった時代の人々にとって、高名な美術作品を模写した版画は、実物を見る以外でその作品を見ることができ唯一の手段といえます。

ヨーロッパでは、限られた人々しか実際に見ることのできない教会や王宮が所蔵する作品の画像が版画によって国境を越え、他国の画家にまで影響を及ぼしました。また、日本の木版画である浮世絵は、輸出されたヨーロッパ各地でジャポニスムと呼ばれる文化の一大潮流を巻き起こす契機となりました。

本展覧会では、版画の持つ芸術作品そのものとしての存在と、情報を伝えるという機能の両面に着目します。約1,000点の森コレクション作品の中から、聖書や文学作品、また作者自身の内面世界などの様々な“ものがたり”を伝えてくれる作品を展示します。



オディロン・ルドン〈わが口づけには、お前の心のなかでとろける果実の味わいがある！…私を馬鹿にするのだね！ さようなら！〉
《聖アントワヌの誘惑第三集》1896年

森コレクションとは、総社市が故 森文雄氏のご家族から寄贈を受けた、約1,000点にも及ぶ版画コレクションです。

森文雄氏は、1923年（大正12）年、総社市生まれ。総社市立常盤小学校、旧制高梁中学校では、文化勲章受章者で総社市名誉市民の書家、故 高木聖鶴氏と同窓の仲でした。東京大学を卒業後、高校の英語教諭として倉敷青陵高校などで長く勤め、40歳ごろから版画の収集を開始。以後約40年間、銅版画やリトグラフなど幅広い版種の、国内外を問わない様々な作家による作品を収集しました。

また、自身も版画家やエッセイストとして活動し、著書に『やぶ蚊ぶんぶん』、『人さまざま』があります。

2005年（平成17）逝去。2015年（平成27）に寄贈されたコレクションは、総社市吉備路文化館で開催された展覧会「森文雄コレクション展 すばらしき版画の世界」で披露され、好評を博しました。

関連イベント

当館学芸員によるギャラリートーク

10月6日（土）、11月3日（土）、12月2日（日）

各11:00～ 会場：2階展示室 参加費無料 事前申し込み不要



オーブリー・ピアズリー
〈トリストランを看病する美しきイゾルデ〉
《アーサー王の死》1893-94年

総社市吉備路文化館

9:00-17:00（入館は16:30まで）月曜休館 ただし、10月8日（月・祝）は開館
〒719-1123 総社市上林1252 TEL・FAX 0866-93-2219

- ◆ 備中国分寺北側県営駐車場より徒歩約10分
- ◆ JR 伯備線・JR 桃太郎線・井原鉄道 総社駅より車で約15分
- ◆ 備中国分寺南側、吉備路もてなしの館そばの駐車場から徒歩約15分